

**平成30年に皆様からお寄せいただいた寄附金
40,560,800円(1,916件)は、
令和元年度の次の事業に活用・充当いたしました。**

寄附金の使途	寄付金額(千円)	活用・充当した事業
栗林公園ニシキゴイ復活応援プロジェクト (特別名勝「栗林公園」の活性化や維持管理への支援)	2,582	栗林公園魅力再興事業(コイ放流)
攻めの農林水産業を支援	8,620	「さぬきの夢」生産拡大事業 「さぬきの夢」ブランド強化事業 「おいでまい」ブランド強化事業
環境保全への支援	1,590	森とみどりの祭典開催事業
子育てや少子化対策への支援	4,370	第3子以降保育料等免除事業
健康長寿のかがわづくりへの支援	1,015	がん検診受診促進事業
教育への支援	1,525	「さぬきっ子学力向上」事業 特別支援学校教材教具整備事業
大学生等への奨学金返還支援	9,425	奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業
「瀬戸内国際芸術祭2019」への支援	717	瀬戸内国際芸術祭推進事業
観光客の利便性向上によるにぎわいづくりを支援	865	観光客の利便性・満足度向上事業
香川丸亀国際ハーフマラソン大会への支援	205	香川丸亀国際ハーフマラソン大会開催事業
地域密着型スポーツチームへの支援	390	地域密着型スポーツチーム魅力向上事業
周到な防災・減災対策への支援	1,036	地域防災力強化促進事業
水資源対策を支援	1,660	香川用水の水源巡りの旅事業
知事におまかせ	6,560	オリーブ生産拡大加速化事業

栗林公園魅力再興事業(コイ放流)

全体事業費(R1決算ベース)	13,645千円
寄付金活用(充当)額	2,582千円



平成30年4月にコイヘルペスウイルス病により姿を消してしまった特別名勝「栗林公園」のニシキゴイを、元の700匹程度まで復活させるため、「栗林公園ニシキゴイ復活応援プロジェクト(コイサポ)」として、県内外の多くの方々からご支援をいただきました。

【コイの放流状況】

- ・平成30年11月 県費で100匹を放流
- ・平成31年 4月 300匹を放流
- ・令和元年11月 50匹を放流

平成30年11月23日～令和2年3月31日までに集まった個人からの寄附金11,962千円と法人・団体からの寄附金8,997千円を合わせて、完全復活できるようになりました！

令和2年4月下旬に予定していたニシキゴイの放流式は、新型コロナウイルスの影響により延期となり、令和2年秋以降に残りの300匹を放流する予定です。完全復活した暁には園内の池を優雅に泳ぐニシキゴイ達に会いにきませんか。

「さぬきの夢」生産拡大事業

全体事業費(R1決算ベース)	5,086千円
寄付金活用(充当)額	5,086千円



さぬきうどんのブランド化のため、その原料となる香川県がさぬきうどん向けに開発したオリジナル品種の小麦「さぬきの夢2009」の作付面積の拡大に取り組みました。

前年比で30a以上作付拡大した農業者を対象として、拡大した面積に対して2,500円/10a(定額)を助成しました。

香川県では、昔から水稻の後に麦類を作付けする二毛作が盛んな土地柄で、「さぬきうどん」が盛んになった背景の一つと言われています。

麦は、天候の影響を受けやすく、作柄の年次変動が大きい作物ですが、県内の生産者は、作付規模の拡大等の技術改善により、天候に負けずに良質な麦を安定的に生産することに取り組んでいます。

ふるさと香川に広がる麦の風景を守り続ける生産者の皆さんの想いととともに、県産小麦で作られる「さぬきうどん」がもっと広がっていくよう取組みを進めてまいりますので、今後とも応援よろしくお願いいたします。

「さぬきの夢」ブランド強化事業

全体事業費(R1決算ベース)	1,620千円
寄付金活用(充当)額	1,620千円

「さぬきの夢」の持つプレミア価値を持続し、製麺技術をさらに向上させるため、「さぬきの夢」うどん技能グランプリを開催し、「さぬきの夢」うどん製麺業の発展と「さぬきの夢」の利用拡大を図りました。
また、「さぬきの夢」の利用拡大を目的として、「さぬきの夢」応援店及び「さぬきの夢こだわり店」の認知度向上、店舗数拡大に取り組み、生産者の意欲向上による生産振興につなげています。



「さぬきの夢」について、詳しくはこちらから →



「おいでまい」ブランド強化事業

全体事業費(R1決算ベース)	7,880千円
寄付金活用(充当)額	1,914千円



「おいでまい」給食講座

県オリジナル米「おいでまい」を、日本を代表するブランド農産物としての地位を確立し、県民米として定着させるため、県内を中心に、積極的なブランドイメージの発信を行いつつ、県外においても新たな販路を広げるための販売対策や高品質生産を持続するための生産者支援を行いました。

森とみどりの祭典開催事業

全体事業費(R1決算ベース)	4,573千円
寄付金活用(充当)額	1,590千円

県民総参加のみどりづくりをより一層推進するため、みどりづくりから林業・木材の利用までの総合的な普及啓発イベントを開催しました。

この祭典では、川上から川下までの森林所有者や林業・木材産業・建築事業関係団体、森林ボランティア団体等の関係者が一体となり協力して、木工教室や丸太切り、ミニハウス上棟式、薪割りや火おこし等、様々な体験イベントを開催しています。

広く多くの県民の皆様が森林や林業、木材に触れる機会を提供することができ、森林や林業等について身近に感じ、知ってもらうことができました。



オリーブ生産拡大加速化事業

全体事業費(R1決算ベース)	24,698千円
寄付金活用(充当)額	6,560千円



全国トップのオリーブ生産量維持を目標に、作付面積の拡大を図るため、苗木代の補助に合わせ新たに苗木を植栽した場合の肥料代等220,000円/10a(定額)を助成。

令和元年度の作付面積214ha、生産量596トン、いずれも過去最高に！

第3子以降保育料等免除事業

全体事業費(R1決算ベース)	210,621千円
寄付金活用(充当)額	4,370千円



3人以上のお子さんを扶養する世帯に対して、第3子以降の保育料等を減免し、世帯の経済的負担を軽減することにより、子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう子ども・子育て支援を行うことを目的に、保育所、幼稚園等において、教育および保育を受けた際に保護者が支払うべき保育料等の減免を行った市町に対して減免額の半額について助成を行いました。

香川県内全17市町に対して次のとおり助成を行いました。

- ① H31.4～R1.9月分 合計2,682名分 延べ14,841ヶ月分
- ② R1.10～R2.3月分 合計2,469名分 延べ14,333ヶ月分

がん検診受診促進事業

全体事業費(R1決算ベース)	3,731千円
寄付金活用(充当)額	1,015千円

乳がん検診を休日に実施する「かがわマンモグラフィサデー」や「初めての子宮がん検診応援事業」など、がん検診を受診しやすい環境づくりに取り組みました。

【初めての子宮がん検診応援事業】

子宮頸がんの検診開始年齢である20歳ごろの女子学生を主なターゲットに、大学・専門学校等に出向いて健康教育を実施するとともに、検診車を派遣し子宮頸がん検診を実施。

- ・令和元年度実施校数: 6校
- ・健康教育受講者数: 281名 受診者数: 48名



がんは早期発見が大切です。がん検診を受診しましょう

「さぬきっ子学力向上」事業

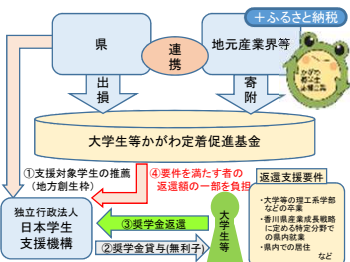
全体事業費(R1決算ベース)	28,013千円
寄付金活用(充当)額	1,325千円

県内の小学校第3学年から中学校第2学年までの全ての児童生徒を対象に、小学校161校、中学校70校(附属学校及び県立学校を含む)で、県学習状況調査を実施しました。

児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善につなげています。

奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業

全体事業費(H30決算ベース)	21,400千円
寄付金活用(充当)額	9,425千円



卒業後の県内定住等の条件を満たした大学生等の奨学金の返還を地元企業等と連携し支援を行っています。

平成28年度開始から311名を認定

特別支援学校教材教具整備事業

全体事業費(R1決算ベース)	261千円
寄付金活用(充当)額	200千円



視覚障害のため小さなものを見るのが難しい県立盲学校の児童のために、モニターに大きく映し出された像を使いピントを合わせることで顕微鏡を購入することができました。

指導者がピントを合わせた像を観察するのではなく、自分でピントを合わせてミジンコやミドリムシなどの小さな生き物を観察できたことは児童にとって貴重な成功体験となりました。

社会一般のイメージでは盲学校の児童生徒と言えば、全盲ばかりと思われるかも知れません。しかし、実は弱視児童生徒の数が圧倒的に多い現状があります。今後も、子どもたちが「見える喜び」を味わいながら学習できるよう、いただいた顕微鏡を活用させていただきます。ありがとうございました。

瀬戸内国際芸術祭推進事業

全体事業費(R1決算ベース)	180,890千円
寄付金活用(充当)額	717千円

「瀬戸内国際芸術祭2019」では、「海の復権」をテーマに、瀬戸内の12の島々と2つの港周辺を舞台に、春、夏、秋の3会期、計107日間開催し、過去最多となる118万人を超える方にお越しいただきました。
また、アート作品の継続公開や各種イベントを実施するなど、地域におけるアート活動を「ART SETOUCHI」と称して、瀬戸内の島々の活性化を目指して活動しました。



今回は2022年の開催を予定しています。また、年間を通じて島々の活性化を図るため、一部作品を引き続き公開中です。

観光客の利便性・満足度向上事業

全体事業費(R1決算ベース)	17,744千円
寄付金活用(充当)額	865千円

県内の観光地やうどん店・アートを巡る定期観光バス「讃岐うどん味アートめぐり観光バス」の運行や県内での宿泊を伴う滞在型観光や県内各地への周遊型観光を促進するための公式観光パスポート「うどん県おもてなしパスポート」を発行するなど、観光客の受入態勢を充実・強化することにより、観光客の満足度と利便性の向上を図りました。



新型コロナウイルス感染症が心配な状況ですが、感染対策を行いながら、今後も香川県の観光振興に努めてまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。

香川丸亀国際ハーフマラソン大会 開催事業

全体事業費(R1決算ベース)	12,500千円
寄付金活用(充当)額	205千円



令和2年2月1日、2日は両日も天候に恵まれ、好コンディションの中、レースを実施することができました。今大会には、実績ある10名の海外選手と58名の国内有力選手を招待し、大会ゲストに金哲彦さん、高橋尚子さんを迎えました。

約95,000人の市民から声援が送られる中、ハーフマラソンには10,393人が出走し、男子では、小椋選手が日本新記録で2位に入るなど、国内外のトップランナーのハイレベルな素晴らしい走りに感嘆の声が上がり、レースを目の当たりにした子どもたちにも夢や感動を与えることができました。

地域密着型スポーツチーム 魅力向上事業

全体事業費(R1決算ベース)	27,584千円
寄付金活用(充当)額	390千円

一人でも多くの方に試合会場に足を運んでもらえるよう、会場全体のエンターテインメント性を高めるイベントを開催し、試合観戦の機運醸成に向けた魅力づくりと情報発信を実施しました。

サッカー元日本代表選手や元プロ野球選手を、ゲストとして招致し、子ども向けサッカー教室や野球教室を開催しました。また、試合前の告知活動の一環として、小学校等への訪問活動を行いました。



(C)KAMATAMARE SANUKI
2019年12月1日カマタマレ讃岐vsウアンラーレ八戸戦
香川県魅力体験DAYの様子

地域防災力強化促進事業

全体事業費(R1決算ベース)	11,574千円
寄付金活用(充当)額	1,036千円

南海トラフ地震等の大規模災害に備えるため、自分の身を守る「自助」の意識を醸成する「県民いっせい地震防災行動訓練(香川県シェイクアウト)」の実施【令和元年度参加登録者250,977人】や、地域のみinnで災害に備える「共助」の要である自主防災組織の結成やその活動の活性化を促進するとともに、香川大学と共同して地域防災対策について研究を行うなど、地域防災力の強化を図りました。



香川県では避難情報などを知らせるスマートフォン向け防災アプリ「香川県防災ナビ」を運用しています。いざという時に備えて、ダウンロードをお願いします。

【Android版】 【ios版】



香川用水の水源巡りの旅事業

全体事業費(R1決算ベース)	7,950千円
寄付金活用(充当)額	1,660千円

香川用水の恩恵や水資源の重要性についての認識を深めるため、県内の中学校が実施する香川用水関連施設の見学に要する経費の助成事業などを行いました。生徒達の節水意識の醸成を図ることにとどまらず、生徒のご家族をはじめ、広く県民の節水意識の向上にも繋がっていくものと考えております。

【令和元年度県内中学校の参加状況】

- ・参加学校数:14校(早明浦ダム12校、池田ダム2校)
- ・参加生徒数:1,471名



皆様からのご期待に応えられるよう、より一層努めてまいりますので、今後とも香川県への応援をよろしくお願いいたします。